

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	環境政策課長 小池 誠	電話番号	0852-22-5345
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	穴道湖・中海湖沼水質保全調査・研究事業費		
目的	(1) 対象	穴道湖・中海周辺住民	
	(2) 意図	新たな水質浄化対策を構築し、今後の水質保全対策に資する	
事業概要	穴道湖及び中海の水質保全を図るため、第6期湖沼水質保全計画（計画期間：平成26年度～平成30年度）に基づき各種施策を総合的かつ計画的に推進する。 ・第6期湖沼水質保全計画の周知・広報 ・水質汚濁防止対策協議会、中海会議等の実施 ・穴道湖・中海の水質に係る調査研究、アオコ回収、汚濁負荷量の集計等 ・住民協働を目的とした、「五感指標」普及、「みんなで調べる中海流入河川調査」の実施		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	穴道湖・中海の湖沼保全計画目標値の達成率（COD）	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	(目標値達成地点数/環境基準地点数) × 100	取組目標値					
			実績値	76.5				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	28,729	25,881
うち一般財源 (千円)	28,729	25,881

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

保全計画に係る各種施策は概ね計画通りに進捗（生活排水処理施設の普及率：穴道湖95%、中海91%）。CODについて、環境基準地点17地点中13地点で目標値を達成（達成率：76.5%）。全窒素については、17地点中15地点で目標値を達成（達成率：88.2%）。全りんについては、17地点中16地点で目標値を達成（達成率：94.1%）。「五感による湖沼環境指標」による評価の結果、穴道湖も中海も「ますます良好な環境である」と感じられている（H27年9月までの調査結果：穴道湖72点、中海74.4点）。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 穴道湖・中海に流入する負荷はわずかず減少している。
- CODについて、目標値に対する超過の程度は0.1mg/Lで、前年度の0.3mg/Lより小さい。
- 全窒素については、17地点中15地点で目標値を達成（前年度：11地点で達成）。
- 全りんについては、17地点中16地点で目標値を達成（前年度：11地点で達成）。
- 湖内においてアオコ発生は、観測されなかった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 流入する汚濁負荷量は着実に減少したが、湖内の水質は概ね横ばい。
  - 生活排水処理施設の普及が大きく躍進したことなどにより、今後、新たな大幅な削減は見込めない。
  - 湖内において、夏季に湖底から水質汚濁の原因となる「りん」の溶出がある（湖内負荷がある）。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 穴道湖・中海の汚濁メカニズムについて、未解明な部分が多い。
  - 生活排水に対する事業は概ね完了。
  - 湖内（湖底）にヘドロ等があり、貧酸素の状態になる。
- ③原因を解消するための「課題」
- 汽水湖の汚濁メカニズムは、非常に複雑で、関連する要素は多岐にわたる。
  - 生活排水処理施設の整備以外に、大幅な負荷削減が期待できる事業が分からない。
  - 河川管理者である国交省において、十分な対策が実施されていない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 専門家の意見を伺いながら、汽水湖の汚濁メカニズムの解明に向け、調査を継続していく（アオコ大発生の原因解明も含む）
- 流入負荷の削減が期待できる事業を把握し、関係機関に対して実施に向けた働きかけをする。
- 湖内負荷の状況等を把握の上、必要に応じて、国に対して湖内対策の実施などを要望する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）